

[様式2]

おおさわ学園三鷹市立第七中学校  
令和7年度 サッカー部の活動方針・活動計画

令和7年5月2日

1 指導体制

顧問教諭等氏名		部活動指導員(休日限定)氏名	資格や経験等	
主顧問	中島 健介	沖山 正則		
主顧問	風間 伸	部活動指導助手	資格や経験等	頻度
副顧問		沖山 正則		週1
副顧問				

2 部員数(令和●年●月現在)

	男子	女子	小計	合計
第1学年	14人	0人	14人	31人
第2学年	2人	0人	2人	
第3学年	15人	0人	15人	

3 年間目標

年間の目標	<p>・「自ら心と体を鍛える生徒」「よく協力し、他を思いやる生徒」が本校の教育目標である。やらされる練習ではなく、自分たちで練習の意味を考えながら取り組み、常に仲間を励ましなが、チームとして成長することを目指す。・技術の向上も大切であるが、学校生活を第一としたうえで「ルールを守ること」「仲間を大切にすること」「精一杯取り組むこと」を三つの柱として活動に励む。</p>
-------	--

4 活動方針

活動方針	<p>(1) あいさつ、返事、感謝の心を全員が持てるようにする。 (2) 個々の技能の成長、チームの一員としてチームの成長させることを常に考える。 (3) 実践的な練習の成果を確認するため、定期的に練習試合を行う。 (4) 学校生活を第一とし、学校のきまり、授業への取り組みをしっかりと行う。</p>
------	--

5 指導内容・方法

(1)体罰・暴言等のない指導	部員との信頼関係を築くことで相互理解を図り、体罰・暴言等のない部活動を展開していく。また、顧問、生徒、保護者と様々な情報を共有し、部員一人ひとりの人権を重んじ、温かく見守る雰囲気をつくっていく。
(2)生徒間の暴力禁止	日ごろから、人間関係を深められるよう練習方法を工夫し、可能な限り練習場所に行く。 また、対外試合などでも相手選手を共に同じ競技をするなかまとして大切に、ラフなプレーや発言をしないよう指導する
(3)部活動指導員・指導助手の活用	外部指導員は活用しないが、部活動指導員を活用する
(4)事故防止・安全配慮	練習において、注意事項を説明してから行わせる

## 6 活動計画

(1)活動日		※曜日を記載
(2)活動時間	平日	15:45～17:15(1.5 時間)※24時間表記
	休日	9:00～12:00(3 時間)※24時間表記
(3)休養日		月曜日、水曜日、土日のどちらか
(4)年間活動予定		
1学期	4月	部活動紹介
	5月	部活動保護者会(活動方針等説明) 夏季大会
	6月	
	7月	
	8月	
2学期	9月	秋季大会・新人戦
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	
3学期	2月	
	3月	三送会

### (5)参加予定大会

	主催団体等	大会名
1	中体連	夏季大会
2	中体連	秋季大会
3		
4		
5		

## 7 過去3か年の主な実績

	年度	主催団体等	大会名
1	特になし		
2			
3			
4			
5			

[様式2]

【記入例】

三鷹教育学園三鷹市立第三鷹教育中学校  
令和7年度 サッカー部(男女混合)の活動方針・活動計画

令和7年5月14日

1 指導体制

顧問教諭等氏名		部活動指導員(休日限定)氏名	資格や経験等	
主顧問	一鷹 三郎	蹴球 五緒瑠	C級	
副顧問	高鷹 二子	部活動指導助手	資格や経験等	頻度
副顧問	鷹鷹田 市右衛門	惚恵 修斗	D級	週2回
副顧問				

2 部員数(令和7年5月13日現在)

	男子	女子	小計	合計
第1学年	12人	3人	15人	40人
第2学年	8人	0人	8人	
第3学年	10人	7人	17人	

3 年間目標

年間の目標	<p>(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像 「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。</p> <p>(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標 都大会出場を目指して日々の練習に取り組む。</p> <p>(3) 地域貢献等の特色ある目標 地域交流を積極的に図るため、年間3回、部員が地域ボランティアに参加する。</p>
-------	--

4 活動方針

活動方針	<p>(1) 部活動の質と量の工夫 練習は、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。</p> <p>(2) 練習や試合等の計画 月に1回程度、競技力を高めるため他校と練習試合を行う。</p> <p>(3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成 挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。</p> <p>(4) 生徒相互の人間関係 チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。</p> <p>(5) 学習と部活動 学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。</p>
------	---

5 指導内容・方法

(1)体罰・暴言等のない指導	科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
(2)生徒間の暴力禁止	運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
(3)部活動指導員・指導助手の活用	顧問と指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。基本的に指導員が平日の練習内容を作成し、顧問及び部員に周知する。
(4)事故防止・安全配慮	生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

## 6 活動計画

(1)活動日		月・火・木・金・土曜日
(2)活動時間	平日	15:45～17:30(1時間45分)※24時間表記
	休日	9:00～12:00(3時間)※24時間表記
(3)休養日		水・日曜日 ※ただし、日曜日が大会等の場合は、月曜日を休養日とする。
(4)年間活動予定		内容
1学期	4月	生徒会部活動紹介
	5月	地区大会予選
		部活動保護者会(指導方針等を説明)
	6月	小学校運動会ボランティア参加
		都大会予選
7月	夏季強化練習	
2学期	8月	小学生部活動体験
	9月	地域祭りボランティア参加
	10月	新人大会予選
	11月	ウインター杯参加
	12月	冬季休業中 練習及び練習試合 基礎体力強化練習
3学期	1月	地区大会
	2月	地域清掃ボランティア参加
	3月	部活動保護者会(年間の活動の振り返りと次年度への反映) 春季休業中 練習及び練習試合

### (5)参加予定大会

	主催団体等	大会名
1	中学校体育連盟	春季大会
2	中学校体育連盟	夏季選手権大会
3	中学校体育連盟	新人大会
4	三鷹市	ウインター杯
5		

## 7 過去3か年の主な実績

	年度	大会名(主催団体等)	実績
1	令和6年度	夏季選手権大会(中学校体育連盟)	第9ブロック優勝 都大会出場
2	令和6年度	夏季選手権大会(中学校体育連盟)	都大会2回戦敗退
3	令和5年度	新人大会(中学校体育連盟)	第9ブロック第3位 都大会出場
4	令和5年度	新人大会(中学校体育連盟)	都大会1回戦敗退
5	令和4年度	特になし	